

30℃を超える暑い日、メロン組でも「かき氷」を食べて涼みました。しかし、突然の通り雨が！ <9/3>

9月3日(木)に、乳児棟メロン組では「かき氷」を食べて暑さを吹き飛ばしました。10時30分ごろから乳児棟西側にある「芝生広場」に移動しました。一列に並んでしっかりと移動することができました。芝生広場に到着すると、目の前には「かき氷の機械」が置かれていました。先生の指示に従い、日よけ対策で設置してあるシェードの丸椅子に並んで座りました。

機械に氷をセットし、慣れた手つきでかき氷を作ってくれたのは、クラス担任の先生方。暑い日だったので、汗だくになりながら、用意された子ども達のカップに、手際よく「かき氷」を作ってくれました。3種類のシロップが用意されていて好きな味を子ども達が選ぶ予定でしたが、突然雲行きが怪しくなったため1種類(いちご味)に変更しました。

先生方から手渡された「かき氷」を、スプーンを使って美味しそうに食べている子ども達の姿が印象的でした。



メロン組のお部屋の床に「線路」が！～電車の模型を走らせて大喜びの子ども達。先生方のアイデアが素晴らしい～

メロン組のお部屋をのぞくと、床に黒く描かれた「線路の絵」が。先生方が黒のビニールテープを使って描いたものです。近くには池や果物なども描かれています。そこで子ども達が、線路の上で乗り物を走らせたり池の中で魚を捕まえる「ごっこ遊び」をしたりして楽しんでいます。子ども達が自由な発想で遊ぶことができるようにとの先生方の思いが詰まっていると感じました。



【写真】朝、登園するとすぐに遊び出す子ども達。遊びの中で友だちとの関係作りも覚え成長していくのですね。先生方のアイデア、素晴らしいですね！